

第6回ひたち若者かがやきプラン策定委員会 議事要旨

日 時 令和3年3月24日(水) 午後2時から午後4時まで

場 所 日立市役所503・504会議室

出席者 委員12名(欠席4名:中村委員、湯浅委員、鈴木委員)

<会議概要>

1 開会

2 委員長挨拶

- 最終回となったが、あっという間の半年間だった。本日も最後の議論を行っていた
だき、最後に、半年間の振り返りを皆様に伺いたい。

3 議題

ひたち若者かがやきプラン(案)について

事務局から行政向けと一般向けの2種類の資料に基づき説明した。

【委員長】

- プラン案は、皆さんの議論を基に作り上げてきたものである。個別施策については、
前回の策定委員会でのアイデアを関係課とのすり合わせを行い決めたものである。皆
さんが思い描いたものと違う表現があれば、それも含め全体的に意見をお願いしたい。

【委員】

- 一般向けの冊子について、表紙か2枚目にもう少し大きく「かがやくとは自分らしく
生きること」という一文を入れておいた方がよい。これまでに何度も「かがやき」に
ついて議論があり、誰もがかがやかなくてはいけないというネガティブな捉え方にな
らないようにしたい。
- また、施策の中身が濃くなってしまふのは仕方ないが、一般向けに配布されるのであ
れば、少し削った方が手に取りやすく見やすい。
- 色合いに関しては、日立市は桜のまちなので、桜っぽい要素があれば日立らしいもの
ができるのではないか。

【委員長】

- 「かがやく」の定義は、後半のページに入っているが、一般向け冊子の方は前のペー
ジに入れられないかということと、施策が多いので見やすくした方がいいのではない
か、そして、桜の要素を入れられないかということだが事務局としてはどうか。

【事務局】

- 「かがやく」の定義を前にした方が分かってもらえるということであれば変更可能
である。文字の多さについては、一つ削ると意味合いが違ってしまうこともあるが、簡
潔にできる部分是对応したい。どの部分を簡潔にすべきかの意見もいただき反映させ
たい。

○ 一般向けは、素案で提示した表現のままのため、実際には行政版の内容を落とし込んでいきたい。ただし、個別施策は、具体的な施策のみの記載とし、主な取組は記載しない予定だ。記載しないと理解できない項目があれば意見をいただきたい。

○ 色合いについては、桜の要素を入れることは可能だと思う。

【委員長】

○ 一般向けはB 5サイズの冊子にするのだが、それについて意見はないか。

【委員】

○ 異議なし

【委員】

○ 冊子の発行予定時期はいつか。市民向けであれば、ワンストップカウンターの連絡先が入っても良いと思う。

○ 前半部分のボリュームが多く感じた。調査結果からという流れは説明的には分かるが、受け取った人が見たいのは、3番の傾向や日立市が何をやろうとしているかで、アンケート結果を最初にじっくり見ることはないと思う。順番を入れ替えてもいいのではないか。

【事務局】

○ 冊子の発行は、4月下旬に行われる定例記者会見で行う予定だ。ワンストップカウンターの連絡先ということだが、ワンストップカウンターの設置も、今後（仮称）ひたち若者かがやき会議で議論をした上で立ち上げるので、現時点では確定されたものではなく取り組む施策の一つという考え方になる。もし、記載するのであれば、女性若者支援課になると思う。

○ 資料の順番は、ご指摘のとおり一番に伝えたいことを前半にもっていった方がいいと思う。アンケート結果などの基礎データは後半に記載することでもいいと思う。

【委員】

○ アンケートは、本編ではなく参考資料程度で良いと思う。

【事務局】

○ 変更可能なため調整したい。

【委員長】

○ 行政の定形的な冊子はこの形が一般的だが、市民向けは、目次の次に本題があることを期待すると思う。素敵に本題を作っているのだから、順番を変えた方が効果的だと思う。

【委員】

○ プランを見てのイメージは、選択肢としてメニューはあるが、入口が分からないと感じた。これを手にした人が何をどう選択できるのかがわかるようにしたい。

○ プラン策定後もこのメンバーを中心とした若者世代が、女性若者支援課を含めた、

プランに記載された課所と関わると思うが、どのような関わり方をすればよいのか。

【事務局】

- このプランを基に若者の組織として、(仮称) ひたち若者かがやき会議を発足するが、このプランは若者を応援するために何が必要かの全体像を示すものである。ご指摘のとおり、プランを見て、若者自身がこれから何をやれば良いのかが分かりづらいかもしれないが、若者を応援するために何をすべきなのかが示されていると思う。

計画策定後に若者がどのように関われば良いかについては、プランとは別に、(仮称) ひたち若者かがやき会議を発足する際の示し方が大切だと考えている。

多くの施策があるため、優先順位を決める必要がある。施策の中には、行政主導で実施するものも多く入っているが、若者が主体的に進められる事業については、優先順位をメンバーで協議しながら進めていきたい。

【委員】

- ロードマップの短期には多くのメニューがあるが、優先順位をつけて良いのか。人数がこの十倍、百倍いるなら役割分担ができるが、スタート時点では難しいため取捨選択が必要である。

【事務局】

- 短期だと4月からすぐにでも始めなければいけないと取られるかもしれないが、2年以内に着手し推進するものを短期としている。短期とする施策がたくさんあるため、何から実施するのか、同時スタートは何かなどを、(仮称) ひたち若者かがやき会議で検討して行ってほしい。また、既に行政で開始している事業については、若者がどう関わることができるかを見極めた上でスタート時期を決定していきたい。ただし、ロードマップに示された通りに実施しなくてはならないものではなく、計画期間の5年間でも終わらないもの、手を付けられないものも出てくるかもしれないが、現時点での優先順位を決めスタートできたらと思っている。

【委員長】

- 施策が多いという指摘があることは事務局から聞いている。せっかく若者がこれらの施策を考える場面で、施策をこなすことだけに一生懸命になることは避けなくてはならないと思う。そのあたりの濃淡は考えて良い。
- 例えば43ページ「キャリア形成・生きる力を養う」の外国人への通訳支援は、既に実施されているが、(仮称) ひたち若者かがやき会議で「この国の通訳が足りない」という課題が出て来れば、通訳をどう募集するかを考える。今は人づてで探しているが、情報発信の分野でツールを使って探すなど、さらに発展した施策になる。何も無いところからスタートするより、今あるものを若者の視点で発展させていく。私も後ろから下支えをしたいと思うので、疲れないように進めていければと思う。

【委員】

- 一般向けの方の目次の写真が、朝日が夕日に見えるので、もう少し青みがかかったこれから始まるというイメージ写真に差し替えていただきたい。また、プランの一覧表は、かがやきプランの定義の後の方が分かりやすいと思う。
- アンケート結果は、何のために載せるかを考えると、このような結果があったという程度である。ターゲットが若者限定であれば、web上でアンケート結果が見られる形にしても良いのではないか。文字が多いので、図形や相関図などに変えると見やすくなるのではないか。

【事務局】

- アンケート結果はホームページにも載せており、webへ誘導することも良いと思う。参考にしたい。

【委員】

- 行政向けの表紙案は素敵だと思うが、真ん中のロゴを単独で見ると、私たちは若者と読めるが、「ひたち若者かがやきプラン」と併記しないと分かりにくい可能性がある。かがやきは読みやすいが、若者がデザインされているので初見では分からない。
- 行政向けの冊子は、庁内しか配らないのか。私たちは素人なので分からないが各部署に配るということか。非常に細かく作っているので、行政サイドとしては細かく書いてあるものが必要なのだろうと思う。一方、一般向けは誰が手に取るものなのか。
- 極端な言い方をすると、書いてある以上はやるという宣言の書類ならば、読まなくてもやるので細かくても良い。見て欲しいものであれば、勇気をもって割愛した方が良いのではないか。市内だけでなく、移住を考えている方もということなので、こんな制度ができて住みやすくなる、行ってみたいというテーマに絞るとか、メリットを多めにデメリットを少なめにするのを考えてもいいと思う。住んでいる街より日立市の方がかがやけるということが伝わる方が良い。そこだけ読んで勘違いしても、初めは騙されたというかもしれないが、次で留めると宣言しているので良いのではないか。

【事務局】

- 一般向けは、市民はもちろん市外県外などにも広く公開し、移住を考えている方にも届くような発信をしていきたいと考えている。また、日立の若者世代が日立の何か動き出そうとしていること動こうとしているということも伝えたい。
- 市役所内部には、プランに基づきどのように動いていくのかを知ってもらい、今後連携して事業を推進していくことから全課所はもちろん外郭団体にも配布を予定している。
- まずは手に取ってもらえるような組み込み方が大切だと思うので、ご意見を参考に構成を考えてみたい。若者かがやきプランには様々な施策が入っており、基本的にはやるべきことという議論の基に入れ込んだものであるため、やっていこうという気持

ちではあるが、若者が施策をこなすだけでは本来の目的を達成することにはならない。先ほど委員長からもあったように、主な取組を示しているが、それをこなすのではなく、若者自身が自由に目標に向かって試行錯誤しながら活動できることがこの計画の良さだと思う。相談しながら推進していきたい。

【委員長】

- やるという心構えでという説明だったが、やらない計画を半年かけて議論していたわけではない。だが、やるのは若者だけではなく、行政のそれぞれの課所が若者の意見を反映し、共に作っていくことが必要である。
- 是非全国に配布できればと思う。庁内関係だけの配布とのことだが、私たち委員の関係者などから希望があった場合はどうするのか。

【事務局】

- 部数には限りがあるため、広くは配布するのは一般向けとしたいが、関係者には配布したい。

【委員】

- 一般向けについて、若者の現状と課題が最初に出てくるために全体がネガティブに見えてしまう。人口減少や若者の課題に行政が応えられていないため、それに答えるための計画のようになってしまう。まちとしての印象や志が低く見えてしまうため、工夫した方が良いのではないか。2ページのようなポジティブなメッセージが多めに目立った方が良い。全体のロジックとしては分かるが意思表示を出した方が響くのではないか。

【事務局】

- ご指摘のとおりだと思う。この流れは、一般的な行政計画の示し方である。若者の計画なので、「かがやく」というキーワードを前面に出し、明るいスタートになるような工夫をしたい。

【委員】

- 裏側にこういう課題があるというロジックがあるのは分かるがお願いしたい。

【委員】

- 一般向けの個別施策で、行政が支援するものと行政と若者が一緒にやるものがある。最初の若者かがやき会議の設立は、「若者誰もが参画でき」ということになっているが、「皆さんと一緒にやっていきたいと思っています」というニュアンスがあった方が頭に残ると思う。
- アンケート結果は、全体的な結果だけ出して残りは web 上で良い。ひたち若者かがやきプランと調べた時にすぐ出てくる仕組みが必要である。
- 行政向けは、若者の現状で最初に内閣府のデータを出し、その後日立市、首都圏と比較という流れになっている。基本的に結果があるなら考察がある。全体的な考察はも

ちろんあるが、内閣府の考察は口頭での説明はあったが記載が無いので、そうであれば内閣府のデータの記載が必要あるのか疑問に思った。

【事務局】

- 計画策定後は、(仮称) ひたち若者会議を発足して事業を推進していくことを想定しており、来年度の行政としての大きな事業であると思っている。そのため、策定にかかわっていただいたメンバーには継続して一緒にやっていきたいと思っており、皆さんもそう思ってくださっていると思う。しかし、プラン全体としては、(仮称) ひたち若者会議も施策の一つであるため、(仮称) ひたち若者かがやき会議も行政と若者が一緒に作り上げるものという表現にしたい。
- アンケートの掲載の仕方のご指摘のとおり工夫したい。
- 国の傾向については、現状を記載した上で、全体的な考察を記載している。

【委員】

- 一般向けの個別施策の部分で、白地が目立つので、主な取組のイメージに合う写真等を入れていくといいと思う。学生から見た時にどのような活動を行っているのかが分かりやすくなると思う。

【事務局】

- 説明不足だったが、白地の部分には、主な取組をイメージできる写真を入れたいと思っている。素材として広報戦略課等で持っているものから相応しい写真を入れたい。

【委員】

- 一般向けの方はページ数も文字数も多い。多くの人に手に取ってもらいたいものだと思うので、ページ数を減らした方が良いのではないか。これだけのページ数だとなかなか手に取らないと思う。
- アンケート結果は web にした方が良い。さらに、ひたち若者かがやきプランは何かという答えに行きつくまでの説明が長い。その答えをもう少し大きく、分かりやすく載せた方が良くと思う。「育ちの場」「学びの場」「成長の場」「安住の場」「活躍の場」となるための環境づくりを推進するためのプランというのが、ひたち若者かがやきプランの答えだと思うが、これをもう少し分かりやすく載せてもらえたら、手に取った方も分かりやすいと思う。

【事務局】

- 同様の意見があるので、調整したい。

【委員】

- 日立市から若者へ向けたものだと思うので、こちらが売り手で向こうが買い手という構図だと思う。若者がかがやけないからという状態で、マイナスイメージが強い内容になっているが、商売として考えると痛点回避で、回避できるからいいものだと思います。

う話の方が伝わりやすいのではないか。統計を取った結果は思っていたとおりの数字で、アンケートを行うことは必要だと思う一方、分かっていた結果が出ている。日立市がその痛点があるかどうかというのは特段関係なく日本中の人がそう思っている。その痛点を日立市は回避できますよというアピールポイントというシンプルな構図の方がいいと思う。修正が難しいかもしれないがお願いしたい。

【事務局】

- 構成や表現の仕方なので、修正することは可能である。一般の方が手に取ってくださるような表現を考え、ご意見を参考に構成を考えたい。

【委員】

- 一般向けの方は明るいイメージにして欲しいが、内部向けは厳しいままにして欲しい。今課題があり、重要度、優先度が高いので、今動く必要があるため、もっと厳しくても良いと思う。そして、それを私たちが共通認識を持っていく必要がある。でも、若者に対しては、応援するので楽しくやろうと投げて、若い人を掴み、離さないようにしたい。

【事務局】

- せっかくこれだけやろうという気持ちがあるので、それを行政側、職員にも知ってもらえるようにしたい。

【委員】

- 自分の仕事の上では、このようなプランがあると、日立市のこの分野に自分たちがどのように関わっていけるかを考えることが出来、施策もたくさん載っているので非常に役立つと思う。ただ、若者となった時に、当事者としてどこに関わっていけるのかということを考えられる段階でないような気がする。
- プラン策定後に、個別の呼びかけを行うのだと思うが、現時点では、個人としてどう動けるのかが出て来ない。もちろん手に取って、日立市からこういうプランが出たというのは知っていただきたいが、それを読んだからといって自分の周りがどう変わっていくのかはイメージしづらいと思う。自分が何かをやるのか、例えばこういう会議があるから参加してみませんかというような呼びかけはない。
- どういう気持ちで若者はこれを見ればいいのか。我々のような立場だと非常にありがたいが、具体的な事業への参加案内がないので、両方狙うというのは難しいと感じる。

【事務局】

- 貴重なご意見だと思う。行政の計画というのはこうになってしまう。だが、実際商売している、お客さんに買ってもらわないといけないという視点だと、ご意見いただいたように大変だろうと改めて思った。私の個人的な意見だが、(仮称) ひたち若者かがやき会議の設立の予告編を入れてしまうのはどうかと思った。そういったメッセージを

入れられるところは入れていけば、委員の意見に近づいていくのではないかと思う。
努力したい。

【委員長】

○ 皆さんが本気で取り組んでいただいているのを感じた。

【委員】

○ 具体的に会議が発足して連携する課所としない課所があるが、若者の定義に入っている方も多く働いていると思うので関係ない部所だから他人事ではなく、市が本気でやろうとしているという意味で全部所が関わってほしい。もちろん若い人だけでなく、40歳以上の役職を持っているような人達にも見てもらい、他の市のアイデアが出てきた時などに、すぐアクセスできるように、全体的な周知をお願いしたい。

【事務局】

○ 現在の予定では、4月に全課所長が集まる会議があるため、そこで説明したいと考えている。プランの冊子は、全課所に配布するとともに、全職員向けの電子掲示板で周知し、計画内容を知ってもらうようにしたい。

【委員長】

○ 意欲的にたくさんの意見をいただきさらにいい計画になると思う。今回で委員会は最後になるので、変更は事務局に一任してよいか。

【事務局】

○ 指摘された内容を修正し、委員長、副委員長と協議後、データを委員にご覧いただくという形を取ることを基本に考えているが、構成が大きく変わるため、電子メールなどで委員の皆さんとも共有しながら修正したい。

【委員長】

○ 今のご提案でよろしいか。任期は3月末ではあるがご協力をいただきたい。当初は、文言や色合い程度かと思ったが、貴重なご意見をいただき、大幅に変更になりそうなので最後に見ていただいて、納得のいく形にして世に送り出したいと思う。時間がなくなりましたが、他に報告があるので、お一人ずつ、半年間策定に関わった感想や想い、これから先の想いなどを語っていただけたらと思う。

4 その他

プランの取り組み方について
事務局から資料に基づき説明した。

5 閉会

以上